２０２０年7月１０日

文部科学大臣　萩生田光一様

全日本教職員組合（全教）
中央執行委員長　小畑雅子

新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等にかかわる要請書

新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中で、子どもたちのいのちと健康を守り、子どもたちの学習権保障にご尽力されていることに敬意を表します。

5 月 25 日に緊急事態宣言が全国で解除され、各地で学校再開が始まっています。

かなり多くの児童・生徒が、3 月から 5 月末まで、3 ヶ月間もの臨時休業により、十分な学習保障がないままにおかれました。各学校の教職員や児童・生徒自身の奮闘によって、課題等による家庭学習やオンラインによる「授業」、家庭のネット環境が整っていない場合には登校して補習を受けるなど、さまざまな形の教育実践・教育活動がおこなわれました。しかし、いずれも学校で通常おこなわれる授業に置き換えることができたとはいえません。いま学校が再開され、今年度分の教育課程を 10 ヶ月で終えるべく、7 時間授業をはじめ土曜授業、長期休業短縮等で遮二無二授業を詰め込もうとする動きが見られます。

中でも、高校 3 年生は進学・就職に向けた準備期間がどんどん少なくなっています。こうした中であわてて進路決定することは、後に憂いを残すことになりかねません。授業優先で学校行事・特別活動を削減する動きも増えていますが、高校 3 年生にとって高校生活最後の行事をなくしてしまうことは極力避けなければなりません。豊かな人間性をはぐくむためにもそうした活動の持つ意味が大きいからです。

特に、現 3 年生は昨年度から「大学入試への英語民間検定の利用」や「大学入学共通テストにおける国語・数学の記述式問題導入」に関する騒動で大いに振り回されてきました。大学入学共通テストの予定期日まで約 7 ヶ月に迫った 6 月 19 日、文科省はようやく「令和 3 年度大学入学者選抜実施要項について」を通知し、大学入学共通テストを予定通りに 2021 年 1 月 16 日～17 日に行うことを明らかにしました。同時に、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れ」を理由に 1 月 30 日～31 日の日程を選択することも可能としています。全国的な新型コロナウイルス感染拡大によって「学業の遅れ」を感じている現 3 年生など受験生はかなりの数に上ると思われます。そうした受験生が後半の日程を選択すれば、結果的に 2 回に分けて大学入学共通テストを行うことになります。2 回の試験の難易度を揃えることの難しさや入試業務を行う大学側の負担の大きさなど、多くの課題が生じることになります。文科省は、当初の日程ありきですすめるのではなく、「秋以降に臨時休業が実施される状況が生じ、高等学校の卒業及び大学入学の時期が 4 月以降となる場合には、それに応じて試験期日等も見直すこととする」ことをふまえ、すべての受験生にとって公平・公正な大学入試となるよう最善を尽くすことが求められています。

以上のことから、下記の点について緊急に要請します。

記

１．大学入試にかかる日程を全体的に 1 ヶ月程度延期すること。

２．今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に対応して、入試日程の抜本的な変更など適切な措置をすみやかにとること。

３．少なくとも、当初予定していた 1 月 16 日～17 日の大学入学共通テストについては延期すること。

以　上